

# 行政報告

第2回町議会定例会にあたり行政報告を申し上げます。

はじめに、平成30年度各会計の出納閉鎖による決算見込みについて申し上げます。

一般会計は、1億2,080万1千円の繰越しとなりました。

歳入は、予算に対して1,547万1千円の増で、町税が予算に対し2,023万7千円の増となり、歳出の不用額は1億533万円であります。

後期高齢者医療特別会計は、94万9千円の繰越しとなりました。

国民健康保険特別会計は、5,476万8千円の赤字となりました。平成30年度の赤字は、令和元年度の歳入を繰り上げて補てんすることとなるため、5月31日付けで令和元年度補正予算を専決処分いたしました。

介護保険特別会計は、3,482万8千円の繰越しとなりました。

繰越しとなった主な要因は、介護保険給付費などの減によるものであります。なお、介護保険給付費に係る交付金等は、給付費の割合で交付されるもので、翌年度に精算されることから、精算額が確定次第、議会へ補正予算を提案いたします。

公共下水道事業特別会計は、経費の節減に努める中、各支出科目の不用額の発生等により、700万2千円の繰越しとなりました。

ガス事業会計は、暖冬等の影響により、年間ガス販売量が前年度対比1万4千立方メートル減の21万立方メートルとなり、ガス売上は182万7千円の減収となりました。

事業収支では、経費の節減に努めましたが、原料費の高騰により費用

が増となったことから、102万6千円の当年度純損失となっております。

この当年度純損失を前年度繰越欠損金3億8,979万4千円に加えますと、当年度未処理欠損金は3億9,082万円となります。

水道事業会計は、年間給水量が前年度対比1万1千立方メートル減の59万立方メートルとなり、給水収益は112万3千円の減収となりました。

事業収支では、経費の節減等により1,706万6千円の当年度純利益となり、前年度繰越欠損金はありませんでしたので、当年度未処分利益剰余金は1,706万6千円となります。

病院事業会計は、前年度に比較し、入院患者数は9.7%の増加となりましたが、入院収益では80万6千円の減収、外来患者数は4.4%の減少で、外来収益では526万3千円の減収となりました。

支出では、前年度に比べ医業費用が1,197万3千円の増加、医業外費用は308万7千円の減少となっております。

事業収支では、一般会計から3億1千万円の補助金を繰入れたものの、期末決算では3,216万8千円の当年度純損失となり、この当年度純損失を前年度繰越欠損金3億8,277万8千円に加えますと、当年度未処理欠損金は4億1,494万6千円となります。

なお、各会計の詳細については決算上程の際に関係資料を提出いたします。

### **次に、ふるさと納税について申し上げます。**

長万部町まちづくり基金条例による、ふるさと納税の平成30年度の寄付状況は、寄付金に対する返礼品金額の割合を5割から3割に変更した影響等により、4,132件、5,995万8,000円となり、前年と比べ4,021件、4,616万5,324円の減となりました。

また、平成30年度では、まちづくり基金を取り崩し、各目的別事業の財源として、合計1億300万8,156円を充当し、年度末現在の残高は、1億5,307万5,137円となっております。

今後は、返礼品の登録品数を増やすとともに、特産品の全国PRを図りながら、更なるふるさと納税による寄付の拡大を目指してまいります。

### **次に、東京理科大学関係について申し上げます。**

本町と大学との地方創生連携事業である再生可能エネルギーを活用した先進的アグリビジネスプロジェクトにつきましては、本年3月末に国から地方創生推進交付金事業として無事採択され、本年度は事業計画の最終年度として、収支の黒字化なども含め自立経営を目指しているところであります。

植物工場では、1棟目のハウスで3作目の収穫が始められており、糖度も高く収量も多く順調で、2棟目は2作目の定植が終わり順調に生育しております。

また、本年3月末から4月にかけて、町内の福祉施設、学校給食、役場ロビーや東京理科大学長万部キャンパスなどで、エンリッチ・ミニトマトの試食と、トマトジュースの試飲によるPR活動も実施され、5月の町民花見会では、参加者にミニトマトが配られるなど、町民のみなさんにも広く認知されてきたと感じているところであります。

また、町内では長万部観光協会のほか、コンビニエンスストアでも販売が開始され、町内でも購入しやすくなり評判も高く、好調な売れ行きが続いております。

5月には東京で開催された、ふるさと納税ウェブサイト運営会社「ルクサ」主催のファン向けイベント及びふるさと納税未体験者を対象としたPRイベントでも、長万部産エンリッチ・ミニトマトとジュースの試食・試飲での評判は高く、参加者のみなさんが甘さとうま味に感動されていたということでもあります。長万部産の高糖度トマトとして、更なる認知度向上に向け、取り組まれているところであります。

販売先につきましては、東京銀座の長万部酒場でもこのミニトマトを使用したメニューが採用されており、道内では蘭越町道の駅や温泉施設

での販売も開始され、現在、輸送コストの安価な道内での販路確保を中心に順調に進められております。

また、ウェブサイトでの販売準備も進められているところであり、販売先も徐々に多方面で確保されてきている状況となっております。

今後は、ハウスでの生産システムの改良により収量の安定的確保に取り組みながら、経費の削減などに努めるとともに、販路の確保・拡大につながるブランディング・プロモーション、マーケティングにより、地方創生事業の最終年度として、引き続き本事業の成功に向け、理科大と連携し取り組んでまいります。

### **次に、北海道新幹線工事関係について申し上げます。**

現在、町内では3本のトンネル工事が行われており、5月31日現在で、掘削中の立岩トンネルのルコツ工区では、本坑5,000メートルのうち493.6メートルが、また、内浦トンネルの静狩工区は本坑5,570メートルのうち231.5メートルが掘削されたところであり、立岩トンネルの豊津工区についても、今年度秋からの掘削開始を目標に準備が進められているところであります。

また、新幹線の地上部である明かり区間につきましては、現在、一部の区間で測量調査が行われており、新幹線と交差する道路や河川などの付け替え工事の協議を進めているところであります。

### **次に、地域連携会議、はしっこ同盟の取組について申し上げます。**

長万部まちづくりアクションプランに基づく地域連携の取組として、本町と黒松内町・豊浦町の3町連携会議「はしっこ同盟」について、4月12日に役場にそれぞれの町長が出席のうえ、協定を締結いたしました。

3町は歴史的に、また現在も繋がりがあるものの、振興局が異なるため各町の行政情報が入りにくく、観光・交通・物流での連携が進んでいない実情があることから、本町の呼びかけにより連携会議を新たに設置するものであります。

今後、毛がにまつりをはじめとする各町の産業まつりや、観光商品の開発、物販の協力などにより人的交流を深め、11年後の新幹線開業を見据えた地域連携の可能性・方向性の検討を行っているところであります。

#### **次に、まちづくり推進会議について申し上げます。**

まちづくり推進会議につきましては、第2回目のまちづくり推進会議を3月28日に開催し、都市計画マスタープランの改正作業に伴うまちづくりの方向性、町道本町通整備の方向性の検討を、また、同日、地方創生部会において地方創生総合戦略の取組状況の報告をしたところであります。

#### **次に、地域おこし協力隊について申し上げます。**

地域おこし協力隊につきましては、平成28年度に観光分野等の支援員として3名を採用し、町の様々なイベントにも積極的に参加いただきまいりましたが、平成31年3月末で3年間の任期が満了となり、そのまま長万部に定住するなど一定の成果があったところであり、現在は、農業分野の支援員として平成30年度から1名に活動いただいているところであります。

#### **次に、ふるさと納税データ処理ミス関係について申し上げます。**

昨年、長万部町にふるさと納税をした寄附者のうち、確定申告が不要となる「ワンストップ特例制度」を利用した515自治体の1,338名について、税額控除に必要なデータを寄附者の居住自治体に送信していなかった処理ミスが判明いたしました。

経過としては、1月24日に税務課において国税連携システムを使い各自治体へ送信する操作を行いましたが、操作方法を誤って解釈していたため、送信ができていなかったことに気づかず、3月20日に判明したものであります。

その後、3月20日のうちに全自治体にデータを送信するとともに電話連絡をし、お詫びの書面を送付いたしました。

この結果、大半の自治体では、当初の住民税課税に問題がないことが確認できましたが、1都4県10自治体の74名については、ふるさと納税寄附金控除を受けるため確定申告をしていただく必要が生じたことから、文書・電話等でお詫び申し上げ対応してまいりました。

現在のところ確定申告について、ご理解をいただいているところではありますが、寄附者の信頼を取り戻せるよう対応してまいります。

今後については、業務の点検、確認を徹底して行い、二度とこのようなことが起こらないよう、再発防止に努めてまいります。

### **次に、老人福祉関係について申し上げます。**

高齢者や心身に重度の障害を持つ方が、社会参加や日常生活の中でタクシーを交通手段の一つとして容易に利用できるよう、料金の一部を助成しておりますタクシーチケットは、4月8日から役場窓口で、11日には国縫・中ノ沢・双葉・静狩の各会館に出向き交付手続きを行いました。5月末までの対象件数は819件で、交付件数は707件、86.3%の交付率であります。

また、9月16日の敬老の日に合わせて、長寿のお祝いと社会貢献へのお礼をこめて、老人福祉センターを9月9日から11日までと13日から16日までの計7日間と、町内にある公衆浴場についても助成を行い、9月10日から16日までの7日間を、それぞれ無料開放する予定であります。

### **次に、児童福祉関係について申し上げます。**

4月1日にさかえ保育所の入所式を行い、今年度の入所児童数は、保育定員60名に対し62名の入所となっております。

一時保育事業の4月の利用状況は、3歳未満児が2名で延べ12日間、小学校低学年児童受入事業の利用は、1・2年生が6名で延べ42日間、保育所に併設している地域子育て支援センターの利用は、延べ24組で51人の親子の利用となっております。

放課後児童健全育成委託事業の学童保育所「ななかまど」は、現在、小学1年生4名、2年生4名、3年生5名、4年生1名、5年生1名、6年生2名の計17名の入所となっております。

また、子ども・子育て支援新制度の施設型幼稚園に移行した、長万部マリア幼稚園の今年度の入園児童数は、利用定員60名に対し33名の入園となっております。

### **次に、生活環境関係について申し上げます。**

平成30年度の本町のゴミ収集総量は、1,996トンで、前年度と比較して2トンの増となっております。

また、渡島廃棄物処理広域連合に排出した可燃ゴミの量は、1,627トンで、前年度と比較し46トンほど減少いたしました。

ゴミ減量化の一環としては、小型家電は役場内に、廃食用油は各会館等に無料回収ボックスを設置し、衣類については各地域等へ年2回の巡回無料回収と役場内担当窓口での随時無料回収を行っております。

今後もゴミの減量には、町民一人ひとりの意識と実行が欠かせないため、ゴミの分別排出にもご協力いただくよう一層の啓発に努めてまいります。

### **次に、海岸漂着物対策関係について申し上げます。**

静狩地区・旭浜地区・長万部地区の海岸漂着物の回収・処理につきましては、補助事業を利用して実施することから、本事業に係る費用について、本定例会に補正予算を提案いたしております。

### **次に、農業関係について申し上げます。**

家畜の主たる飼料作物であります牧草は、雪解けが早かったことと好天が続いたこともあり生育は順調に経過しており、5月15日現在の作況状況では、生育は平年より早く推移しております。また、サイレージ用とうもろこしは、播種作業が平年並みに進んでいる状況となっております。

牧野事業では、足腰の強い優良な後継牛の育成や、生産コストの低減と酪農経営の安定を図るため、公共牧場の運営事業を行っておりますが、平成28年度から牛ウイルス性下痢の入牧前検査後に入牧を実施しており、牧場内での感染防止に努めております。

入牧状況につきましては、町内酪農家の飼育牛は、4月22日に共立牧場へ176頭、5月7日に蕨岱牧場へ135頭を入牧しました。

また、共立牧場は、入牧頭数に余裕があるため、今年度も豊浦町及び洞爺湖町の酪農家の飼育牛の預託を受入れ、5月17日に91頭の入牧が終了し、合計402頭が入牧しております。

生乳生産量は、1月から4月まで3,210トン、乳代は2億9,478万円となり、前年に比較し22トンの減となり、乳代では207万円の減となっております。

黒毛和牛の1月から4月までの販売頭数は85頭、販売金額は6,702万円となり、前年に比較し、販売頭数で1頭の減となりましたが、販売金額では665万円の増となっております。

### **次に、林業関係について申し上げます。**

森林環境保全整備事業の環境林整備事業で実施する共立地区の地拵・植栽事業3ヘクタールは、4月26日に着工し、5月27日に完成しております。

緑化推進では、今年度も引き続きNPO法人長万部町緑と樹を愛する会からエゾヤマザクラの苗木100本の寄贈があり、4月29日に同法人主催の植樹祭で、町民約150人の参加のもと富野地区の町有地に植樹が行われました。

### **次に、有害鳥獣駆除対策について申し上げます。**

有害鳥獣駆除対策では、長万部町鳥獣被害防止対策協議会が中心となり、関係機関と連携を図りながら、効果的な被害防止対策を実施しております。

また、ヒグマや近年個体数が急増しているエゾシカが、林業や農業へ被害をもたらしていることから、総合的に対処するため、今年度も引き続き鳥獣被害防止対策事業を同協議会に委託し、ハンターによる巡回の徹底や有害鳥獣駆除業務を実施し、被害防止対策の強化を図っております。

また、近年北海道で生息域を急激に広げているアライグマなど特定外来生物の防除についても、法律に基づく特定外来生物防除実施計画を作成し、今年度から捕獲ができる体制としております。

今後も関係機関と連携を図り、鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律等に基づき、人畜被害を防止するため適切な処置を実施してまいります。

## 次に、漁業関係について申し上げます。

基幹産業である平成30年度のホタテ貝養殖漁業生産量は、12,404トンとなり、前年度に比較し2,382トンの増で、生産額では36億7,007万円となり、前年度と比較し6億7,598万円の増となっております。増加の主な要因としては、前年度は成育不良や自然災害により養殖施設が被害を受け、生産量が低迷しておりましたが、平成30年度についてはその様な被害が比較的少なく、一時的に生産回復したものであると思われま。

また、EU向けホタテ貝出荷は140トン、生産額では4,833万円となっております。

渡島北部地区水産技術普及指導所が、本年2月に長万部町海域のホタテ稚貝の生育等を調査した結果、正常貝は約37%、変形及び欠殻貝が約41%、へい死等の死貝が約22%となっており、過去の実績と比較しましても外部異常や、へい死率が非常に高くなっておりますので、引き続き関係機関と連携し、生育状況を注視してまいります。

また、近年、全国的に不漁が続く秋サケ漁の平成30年度の漁獲量は約571トンで、前年度に比較し約185トン増加いたしましたが、単価下落により、漁獲額は3億3,312万円となり、228万円の増となっております。

**次に、商工観光労政関係について申し上げます。**

中小企業を取り巻く環境は、内閣府が今年3月に発表した景気動向指数によると、景気の基調判断が後退の可能性が高いことを示す「悪化」に下方修正されたこともあり、今後の経営不安を解消することから、本年度も事業経営の安定化を図るため、中小企業特別融資資金の貸付けを関係機関と連携し引き続き実施しております。

また、長万部商工会では、会員の高齢化や後継者不足などにより、会員数が200を切るなど衰退傾向にあることから、昨年度から後継者対策を含む経営改善等の支援を実施しております。本年度も引き続き、地域活性化を図るため、経営改善等の支援を実施いたします。

観光振興では、新たな観光資源の発掘・情報発信を目指すとともに、「はしっこ同盟」や、長万部町、八雲町、今金町、せたな町の「北渡島檜山4町地域連携推進協議会」などの広域連携事業を中心とした活動・取組を一層強化してまいります。

また、長万部観光協会では、JR長万部駅構内に設置されております観光案内所「インフォまんべ」を拠点に、町の観光情報を発信するとともに、道内外での各種観光イベントにも積極的に参加し、観光客の誘致に努めております。更に、町を訪れる多くの観光客のみなさんへ長万部温泉や二股ラジウム温泉、飲食店の紹介をはじめ、町内の観光情報を提供しております。今後、法人化を目指す長万部観光協会は、更なる事業の拡大・充実に模索しております。

本町の経済活性化の一環であります合宿等誘致事業は、ゴールデンウィーク期間の合宿等も順調に推移しており、今後とも関係機関と十分な協議を進め、合宿誘致を実施してまいります。

新規学卒者の就職状況は、緩やかに回復した景気の安定と人手不足などを受けた企業の採用意欲の向上等により改善され、地元高校の3月卒業生の就職率は100%と、前年度に続き安定を保っております。

**次に、建設関係について申し上げます。**

建築事業では、町営住宅神社下団地非常灯外交換工事が、6月28日までの工期で実施中であります。これは、神社下団地の共用部における停電時点灯照明器具等が経年劣化により腐食が進行しているため、交換工事を行うものであります。

その他、各公共施設や町営住宅の修繕工事については、計画的に実施しております。

土木事業では、国の社会資本整備総合交付金事業を活用して実施する、長万部町橋りょう点検調査業務委託は、令和2年1月31日までの工期で業務を実施中であります。これは、法令により町が管理する橋りょうの5年に1度の点検が義務化されているもので、今年度は24橋の近接目視点検を実施してまいります。中央跨線橋修繕工事につきましては、平成30年度に修繕実施点検が完了しましたので、今年度は、昨年度に引き続き北海道旅客鉄道株式会社と修繕工事のための協議を実施いたします。

道路維持関係では、町道中山大通線外舗装補修工事を11月15日までの工期で発注しております。

その他、町道の側溝補修等については、計画的に実施しております。

また、第2回臨時会において補正予算の議決をいただきましたロータリ除雪車購入の入札を、5月29日に行いましたので、地方自治法の規定により本定例会に購入契約の締結を提案いたしております。

公園関係では、あやめ公園は4月12日に、長万部公園は4月19日に、それぞれオープンし、パークゴルフやキャンプなど、町内外の多くの方に利用されております。

その他、公園管理用刈払機は4月19日に購入契約を締結し、5月9日に納入されております。

**次に、公共下水道事業について申し上げます。**

終末処理場の汚泥脱水機ケーキホッパー重量計外修繕工事及び2号溶存酸素計交換修繕工事は、それぞれ9月10日までの工期で施工中であります。

**次に、ガス事業について申し上げます。**

ガス本支管改良工事の北12号線外工区及び本町2・3号線工区は、それぞれ9月13日までの工期で施工中であります。

**次に、水道事業について申し上げます。**

静狩地区3号取水井浚渫工事及び長万部地区ろ過機ろ材交換工事は、それぞれ9月5日までの工期で施工中であります。

**次に、病院事業について申し上げます。**

前年度に引き続き、新公立病院改革プランにそった形での病院経営の改善に努めております。厳しい経営状態が続いておりますが、医療スタッフの確保に努め、今後も地域に根ざした信頼される町立病院を目指し、健全経営に努めてまいります。

**次に、教育関係について申し上げます。**

長万部高等学校制服購入費補助は、新入学生の保護者33人から申請があり、163万884円を4月25日に委任払いにより制服納入業者に支出しております。

次に、長万部高等学校通学費補助は、黒松内町、八雲町及び森町の通学者25人から申請があり、299万750円の支給決定をしております。

また、国公立大学及び東京理科大学生に対する奨学金の給付や貸付けは、国公立大学生5名から申請があり、奨学金運営委員会を開催し給付等の決定をしております。

## 次に、消防関係について申し上げます。

今年5月末現在の火災件数は2件で、JR鉄道用地と字国縫海浜地で野火が2件発生しております。

救急件数は107件、搬送人員は101人で、急病が57件、交通事故が8件、一般負傷が7件、その他転院搬送などが35件で、うちドクターヘリによる搬送が3件となっております。

火災予防の事業では、春の全道火災予防運動期間中に、女性消防団員による街頭啓発・町内全域に102本ののぼりを設置、署員による防火広報、ホテルや大型店舗など不特定多数の方が出入りする施設の防火査察を実施したほか、一般世帯における防火指導を行い、住宅用火災警報器の適正設置や早めの更新を呼びかけました。

消防団の状況につきましては、3月31日付けで団員5名が退団、4月1日付けで2名が入団し、現在の団員数は、基本団員が109名、女性団員が18名、機能別団員が20名で、計147名となっております。

4月に新聞報道されました消防車両の過積載につきましては、当町消防本部が所管する消防車両14台を検査計測したところ、救急車を含む12台の車両に過積載並びに車両重量の超過が判明いたしました。過去において、事故や業務上支障をきたす事態はなかったものの、長期にわたり過積載が常態化されていたことは、安全を守る消防機関の車両管理としては不適切であり、誠に遺憾であります。

現在、救急車3台・消防車1台の校正が終了し順次法令に適合させ、適正に運用してまいります。

終わりに、本定例会に提案した議案は、専決処分の承認や条例の制定、規約の変更、一般会計補正予算など12件となっております。

議案上程の都度、担当説明員から説明させますので、よろしくご審議くださるようお願い申し上げます、行政報告を終わります。